

# どうする プラスチックごみ



月田 均



町長

県と連携し  
強く撤去を促す

### 質問

近年、町内に管理不十分のプラスチックごみが増えてきたように感じる。近隣の住民はごみの散乱、臭い、火災の危険で困っていた。そうした中、先日プラスチックごみによる大きな火災が発生した。黒煙を上げて激しく燃える火災に驚いた人も多かったと思う。町はこうしたプラスチックごみについて、どのような対応しているのか。

### 答弁

町長 町内の管理不十分のプラスチックごみについては把握しており、県と連携



人家の近くで黒煙を上げて激しく燃えるプラスチックごみ

### 質問

福島橋の南側の堤防を西側に200メートルほど進んだところで、れんが造りの古い水門を見つけた。歴史的に貴重なものと思うが。

### 答弁

教育長 この水門は福島水門と呼ばれ、明治34年に造られたれんが造りの構造物で、当時はそこを抜けて船橋を使って、利根川を渡ったようだ。増水時には枠木をはめ込んで、浸水を防ぐ役割を果たし、明治43

### 職員提案制度の取組は

令和3年度、職員提案制度にどう取り組むのか。

### 答弁

町長 本制度は、職員の研究心及び業務の能率向上を図るとともに、町政に対する参加意識を高め、活力ある町政の推進を図ることを目的にしており、引き続きこの制度を推進していく。

### こんな質問もしています

- ・玉村町の新型コロナウイルス感染症防止対策について
- ・天狗岩用水の世界かんがい施設遺産登録について

# フードバンクへの 取組は



新井 賢次



町長

体制を整備し  
新年度から始める

### 質問

令和2年第4回定例会において、子供の貧困対策事業としての学習支援について質問した。これに対し、町長から「今後は『フードバンク』の実施も検討している。学習支援に合わせて食料支援にも積極的に取り組んでいきたい」と答弁があった。進捗状況と今後の対応は。

### 答弁

町長 フードバンクの前段階として平成31年4月からNPO法人おたがいきまと連携して「フードドライブ」を実施している。家庭等で余っている食品の提供を受け、生活



フードドライブでの実績を活かしたい

### 歴史的建造物を次世代にどうつなぐか

### 質問

特に、井田家主屋・酒蔵、小泉重田家住宅について歴史資産としての価値を高める具体的方策は。

### 答弁

教育長 積極的に公開し、活用することだと考える。井田家住宅の主屋、酒蔵、土蔵、煙突は文化財調査委員会からの答申を受け、町重要文化財として指定した。重田家住宅については、所有者のご協力のもとで観光案内、各種展示会、茶会、映画のセットなどとしての活用を図ることで価値を高めたい。

### 答弁

生涯学習課長 井田家住宅は、玉村八幡宮を核とした町のシンボリックな、重要な景観資源である。町重要文化財に指定したことで、歴史的な景観を損なうことなく保存することができると考えている。倒壊の恐れが懸念される煙突も、所有者、専門家と調整し、補助金等を活用して安全対策を行いたい。

### こんな質問もしています

- ・令和3年度施政方針について